

社会的養護の新展開 12

—戦争と子どもたち 2—

浦田 雅夫
京都芸術大学

社会的養護の新展開というタイトルながら、前回から引き続き、戦争と子どもたちについて書いている。「戦争と子ども NHK 戦争証言アーカイブ」は、子ども時代の戦争体験語る芸能人らの動画を残していて興味深い。そのなかで、昭和 20 年、終戦直前、当時、国民学校 6 年生だった芦屋小雁さんは、京都四条大宮の駅であった出来事について語っておられる。

大阪大空襲の数日後、阪急四条大宮駅付近にボロボロの服を着た人たちがいると耳にした。京都は戦争にあわない場所だと聞いて、大勢来たらしい。かつて四条大宮は阪急の終点。着の身着のままの神戸や大阪から流れてくる人たち。黒山のごとくの人、また人。そのなかに、親のない子どもたちがいた。その孤児を小雁さんは、不憫に思い自宅に連れて行き、粗飯をとらせ、同じ布団で寝かせたという。自分の弟みたいな感じで、自分のなかではその子を弟にしようと思ったが、自分の家族の分だけでも精一杯の時代、母が反対し、仕方なくその子を連れて四条大宮の駅に連れて行った。その子はどうしているか。戦争のことを思い出すたびに、そのことを思い出すという。まさに、本庄のいう「駅の子」である。

手助けしたかったが、結局一晩泊めることしかできなかった 11 歳の小雁さん。

このエピソードを聞き、私は小さい頃、野良犬の子を拾ってきた兄が、明日は野に返してきなさいと母からひどく叱られていたのを思い出した。

戦後、「浮浪児」と呼ばれた戦争孤児たちは、GHQ による治安維持の指令のもと、「野犬狩り」、「刈り込み」によりトラックに乗せられ施設へ収容されていった。しかし、当時の施設は非常に劣悪な環境であり、また駅に逃げ帰る子どもも多くイタチごっこだった。

浅井は、「戦争孤児問題は、国・政府の戦後処理問題の一つである。」とし、①戦争孤児問題は戦争の必然的な結果というだけではなく、子どもへの無関心＝国家の国民・子どもを守る役割の放棄であること。②GHQ が占領政策（一方的な権利の主張や相手への制限負荷の禁止）を無視したこと。③国家、政府が戦中の戦争孤児への対応と戦後の戦争孤児への対応を全く異にしたこと。すなわち、戦中は英霊の子として靖国の宝として大切にされたが、戦後は、厄介者扱いされた等、国家、政府による問題が本質にあると指摘している。一丸となり戦いが求められた後は、知らぬふり。犠牲はいつも弱い立場に集中する。

先日、NHK 等でも「駅の子」として取り上げられてきた、O さんに直接お話を伺う機会を得た。O さんは現在、88 歳。現役のマッサージ師。「1 日ひとりしか、マッサージしない

のよ」、といいながら私の背中をさすり「日本は神の国だって、絶対勝つて教えられてきましたよ、それが、戦争が終わった途端、一番犠牲になったのは子どもたちですよ。二度と戦争はしてはいけないですよ。」と話し出された。

「親友が死んでね、徹底的に社会に逆らって生きてやろうと思っていたんだけど、駅を転々として、ルンペン刈りにあってね、伏見に行った。そこで出会った K 先生が僕を変えた。汚い汚い、僕の背中を流してくれた。絶対にみんなを呼び捨てにしないし。この人のいうことなら聞かないといけないなと思った。人は出会いで変わるんだ。」そう話される O さん。気がつけば、2 時間以上もマッサージをしていただいていた。困難な状況を生き抜いてこられた O さんが、信頼に値する大人との関係のなかで、自身の将来展望を持ち、生き抜いてこられたことがよくわかった。「盲学校へ行かせてくれた K 先生はね、しんどかったら、いつでも帰ってきたらいい、いつでも帰ってきて泣いたらいいんや」と言ってくれた。

体をほぐしていただきながら、ケアの本質を教えていただいた気がした。

出典)

・NHK 戦争アーカイブス 芦屋小雁「京都に逃げてきた戦災孤児」

最終閲覧日：2020 年 11 月 30 日

https://www2.nhk.or.jp/archives/shogenarchives/bangumi/movie.cgi?das_id=D0001240285_00000

・浅井春夫・川満彰『戦争孤児たちの戦後史 1』吉川弘文館、2020 年

・同上の文献において、本庄豊は、戦争孤児の取材経過のなかから、「浮浪児」のなかでも駅周辺にいる者を「駅の子」としている。

・「駅の子」 生きるために闘い続けた戦争孤児

最終閲覧日：2020 年 11 月 30 日

<https://www.nhk.or.jp/special/plus/articles/20180905/index.html>

・視覚障害 ナビ・ラジオ

私は『駅の子』だった

最終視聴日：2020 年 11 月 30 日

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/shikaku/list/detail.html?id=47240>